

ニュースリリース

Sapporo Concert Hall Kitara
札幌コンサートホール

2019年10月開催 札幌コンサートホール主催事業について

第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト アダム・タバイディ デビューリサイタル

この9月から1年の任期中、ハンガリー出身のアダム・タバイディが第21代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任します。バッハからロマン派、フランスの現代曲まで色彩感あふれるプログラムを披露します。専属オルガニストとしてのスタートとなるデビュー公演をぜひお楽しみください。

日時/2019年10月5日(土)
13:30 開場 14:00 開演 (15:30 終演予定)
会場/札幌コンサートホール Kitara 大ホール



アダム・タバイディ

■出演

オルガン/アダム・タバイディ (第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

■プログラム

J.S.バッハ：トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564

リスト：バッハの名による前奏曲とフーガ S260

デュリュフレ：オルガン組曲 作品5より トッカータ ほか

■料金

全席指定(税込) 一般 1,000円 U25 500円

アダム・タバイディ Adám Tabajdi

1993年、ハンガリー生まれ。リスト音楽院やパリ国立高等音楽院などでオルガン、即興、チェンバロ、通奏低音を学ぶ。これまでにトン・コープマンら著名なオルガニストたちによるマスタークラスを受講。フランス財団及びタラディ財団から奨学金を授与され、またアニー・フィッシャー音楽奨学生となる。2017~18年にはパリ・ノートルダム大聖堂初のオルガニスト研修生に選ばれた。2018年からリスト音楽院の博士課程に在学。

2019年9月、第21代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

＜Kitara ワールドオーケストラシリーズ＞

クリスチャン・ヤルヴィ指揮
MDR ライプツィヒ放送交響楽団

ドイツのライプツィヒから名門楽団が来日！2018 まで同団の音楽監督を務め、クラシック界にフレッシュな風を吹かせるクリスチャン・ヤルヴィと、情熱的で気品漂う演奏で人を惹きつけるアン・アキコ・マイヤース、そして豊かな音色と機能美を有するオーケストラ。三者の感性が一つになる時、ここに名演が 誕生します。

日時／2019 年 10 月 27 日（日）
15:15 開場 16:00 開演
会場／札幌コンサートホール Kitara 大ホール

■出演

指揮／クリスチャン・ヤルヴィ
ヴァイオリン／アン・アキコ・マイヤース
管弦楽／MDR ライプツィヒ放送交響楽団



■プログラム

J.S.バッハ／メンデルスゾーン編曲：
管弦楽組曲 第3番 二長調 BWV1068 より「序曲」
メンデルスゾーン：
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
（ヴァイオリン／アン・アキコ・マイヤース）
ベートーヴェン：
交響曲 第5番 八短調「運命」 作品67



■料金

全席指定（税込）
S 12,000 円 A 10,000 円 B 8,000 円
C 6,000 円 D 完売 U25(B・C) 3,000 円

ドイツオーケストラセット券：
S 24,000 円（30 席） A 19,000 円（20 席） [限定 50 席・Kitara のみ取扱い]
※ 10 月 27 日 MDR ライプツィヒ放送交響楽団 & 11 月 28 日 ケルン放送交響楽団公演のセット券

取材のお申込をお待ちしております

【担当・お問合せ】

札幌コンサートホール事業課事業係 日下、河原

〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-15 TEL 011-520-2000 FAX 011-520-1575